

社会資本総合整備計画「雪国の快適な暮らしを支えるまちづくり」の中間評価について

高橋 望

土木交通部 道路課

社会資本総合整備計画の中間評価が、本年度県内で初めて実施された。従来の補助金から交付金事業へ国の予算が移行していることから、国の評価制度の要綱が変更され、新交付金事業は国の再評価実施要領の適用外となった。一方、滋賀県では公共事業等計画評価実施要綱を制定し、社会資本総合整備計画の中間評価と事後評価が必要となった。本文は、本年度行った中間評価の内容について報告するものである。

キーワード 中間評価、社会資本整備総合交付金、整備計画

1. 評価制度の改正について

これまでは個別事業箇所について、①5年未着手、②事業採択後10年継続等の要件に合致する事業を評価監視委員会に諮り、再評価を実施してきた。

国の補助制度が、国庫補助金から社会資本整備総合交付金や地域自主戦略交付金に移したことをうけ、国の評価制度が変更され、社会資本整備総合交付金や地域自主戦略交付金等の交付金事業は国の再評価実施要領の適用外となった。

一方、本県の評価制度改正の方向性として、平成23年度に滋賀県公共事業評価監視委員会にはかり、以下の点を決定した。

再評価については、①国庫補助事業（交付金事業は除く）および単独事業（全体事業費10億円以上）の再評価は、これまでどおり継続。②交付金事業の個別箇所の再評価は原則、実施しない。ただし、社会情勢等の変化から委員会に事業中止の諮問ができる余地は残すことになった。

交付金事業の計画評価については、①社会資本総合整備計画の中間評価および事後評価について、透明性・客観性・公平性を確保するため、委員会に意見を聴くこと。②計画を構成する個別箇所の事業もある程度は必要と判断。主要な事業（再評価と同様の要件）を1事業または数事業選定し、事後評価の一環として事業評価（費用対効果分析など）を行うこと③委員会の意見は、時期計画の検討に活かせるようにすること。④PDCAサイクルによる計画の作成と実施を行うこと。

■PDCAサイクルによる実施フロー

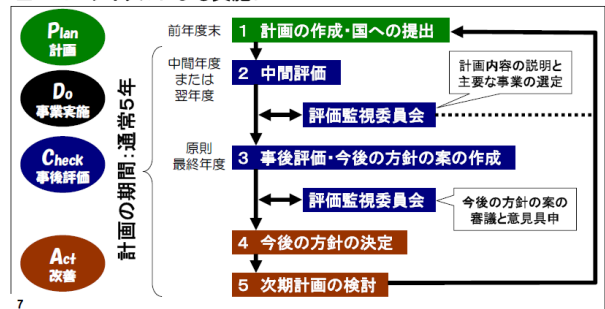


図-1 PDCAサイクルによる実施フロー

2. 計画評価のポイントについて

平成24年2月9日に監理課が新たに制定した滋賀県公共事業等計画評価実施要綱での評価の種類は中間評価と事後評価になる。

中間評価については、実施時期は通常5年である計画期間の中間年度または中間年度の翌年度に行う。評価の内容として、①事業の進捗状況②事業効果の発現状況③評価指標の目標値の実施状況の3点について評価する。なお、対象事業費が50億円未満の場合は、中間評価を実施しなくてもよいことになっている。

事後評価について、評価の時期は原則として計画期間の最終年度に行うことになり、評価の内容として①事業の進捗状況②事業効果の発現状況③評価指標の目標値の実現状況④主要な事業（1事業または数事業）の事業評価（費用対効果分析など）を行う。

主要な事業は、中間評価の際、委員会が選定する。選定要件は、従来の再評価の要件と同様で①採択後5年以上未着工②事業採択後10年以上経過し継続中の事業であ

り、評価手法については、再評価の手法を参考とし、必要に応じて修正する。

委員会は所掌事務として、中間評価時点では、①中間評価の内容の審議②主要な事業の選定を行い、事後評価時点では①事後評価の内容の審議②今後の方針の案の審議③今後の方針の案に対して意見具申を行う。

委員会からの意見を受けて、知事が今後の方針を決定して、関係機関に報告し公表する流れとなる。

今後の方針については、現計画の目標等についての考察や、次期計画の目標等の設定、今後の事業展開の方針などを盛り込む。

3. 社会資本整備計画について

(1) 社会資本整備総合交付金とは

平成22年度から創設された交付金（H21年度の地域活力基盤創造交付金を引き継いでいる。）であり、地域が抱える政策課題を自ら抽出して整備計画で明確化、地域が設定した具体的な政策課題の解決のため、ハード・ソフトの両面からトータルな支援をされるもの。地方公共団体の自由度を高め、創意工夫を活かせる総合的な交付金としている。また、地方自らが目標を設定し事後評価・公表を行うことになっている。

(2) 滋賀県におけるパッケージの設定

現在滋賀県道路課では、各地域の課題の下、現在4つのパッケージ（整備計画）を設定している。パッケージ1「雪国の快適な暮らしを支えるまちづくり」については、長浜土木事務所管内、高島土木事務所管内を担い、パッケージ2「滋賀中部地域の観光振興を支援するまちづくり」は東近江土木事務所管内、湖東土木事務所管内、パッケージ3「滋賀南部地域の安心していきいきと暮らせるまちづくり」は大津土木事務所管内、南部土木事務所管内、甲賀土木事務所管内と各地域ごとにパッケージを設定している。パッケージ1～パッケージ3の期間は平成21年度～平成25年度までの5ヶ年の計画になっている。4つめの計画名称は、パッケージ1「災害時における信頼性の高いみちづくり」で平成23年～平成27年の5ヶ年で滋賀県全域の全国防災事業を担っている。

今回の中間評価については、第1回目としてパッケージ1の「雪国の快適な暮らしを支えるまちづくり」で9月に実施し、パッケージ2とパッケージ3については、11月に実施した。

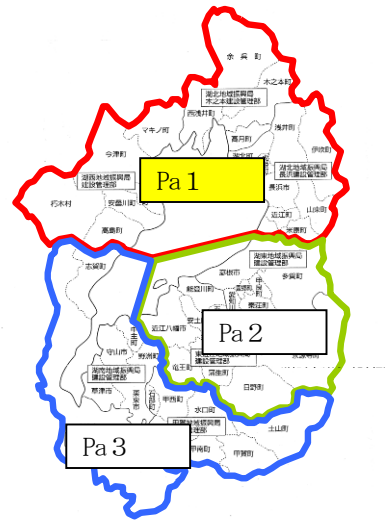


図-2 滋賀県における社会資本整備総合整備計画
(パッケージNO. 1～No. 3)

(3) パッケージ1「雪国の快適な暮らしを支えるまちづくり」について

滋賀湖北地域は、地形的に山間部が多く、日本海側に近接していることから全域が雪寒地域に指定されている。そのため当地域は冬期の交通機能障害など生活環境への影響を最も受ける地域であり、気象条件に左右されない都市環境の整備が課題となっている。当整備計画では、大雨時や積雪時、災害時などにも対応可能な道路交通基盤等の整備を図り、地域内の快適な暮らしを支える。

また、地域の基幹ネットワークを形成する道路整備を推進することで、高規格幹線道路へのアクセスを向上させ、地域の産業振興に資するとともに成長基盤の強化を図ることを目標とする。

4. 社会資本整備総合交付金 整備計画の推移

Pa1「雪国の快適な暮らしを支えるまちづくり」は平成21年度から平成25年度の5ヶ年で実施する計画になる。平成21年度に社会資本整備総合交付金の事業数153箇所、事業費29,700百万円で始まり、平成22年度については、年度途中に、地域自主戦略交付金に一部移行している。地域自主戦略交付金は修繕事業や交安事業、電線共同溝といった事業が対象で、内閣府から各自治体に一括して配分される交付金である。平成22年度の社会資本整備総合交付金は事業数119箇所、事業費23,353百万円、地域自主戦略交付金は87箇所、事業費10,133百万円になり、中間年度である平成23年度については、社会資本整備総合交付金は事業数122箇所、事業費22,209百万円、地域自主戦略交付金は事業数99箇所、事業費11,994百万円になっている。平成23年度は地域自主戦略交付金の対象が拡充されたことから、さらに社会資本整備総合交付金から地域自主戦略交付金に移行している。

5. アウトカム目標について

滋賀県では、パッケージ1「雪国の快適な暮らしを支えるまちづくり」で定量的な成果指標として、アウトカム目標を設定している。本委員会により、2つの指標を評価した。

(1) 冬期路面事故件数

滋賀県北部地域における降雪1日当たりの冬期路面時の死傷事故件数を設定した。

降雪1日当たりの冬期路面時の事故件数

$$=A/B \text{ (件/年間降雪日数)}$$

A：長浜、木之本、高島管内における12月から3月までの事故のうち、路面状態が凍結または積雪の事故件数

B：長浜、木之本、高島管内の降雪観測地点（積雪センサー）29箇所の降雪日数の平均値

このアウトカム指標については、ITARDAデータや県警本部より提供を受けた事故データを元に北部地域における路面状況が凍結または積雪となっている事故の件数を北部地域の降雪観測地点29箇所の12月～3月までの降雪日数の平均値で除した値を採用している。平成11年度～平成20年度の平均値1.18件/日を当初値とし、最終年度である平成25年度までに10%削減を目指し、中間目標値を1.12件/日、最終目標値を1.06件/日とした。

(2) 冬期路面事故件数の中間評価結果

国道367号途中谷バイパス、大浦沓掛線庄工区等の供用開始や除雪車購入により交通事故多発箇所の是正や安全な歩行空間の確保が発現でき、中間結果が0.95件/日となり中間目標値を達成した。

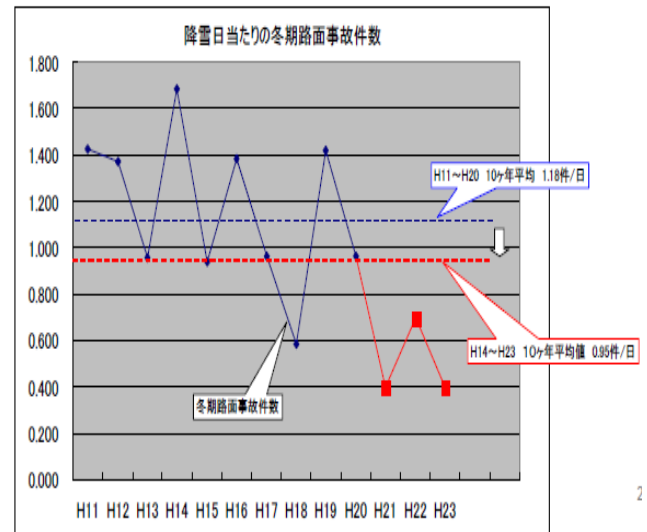
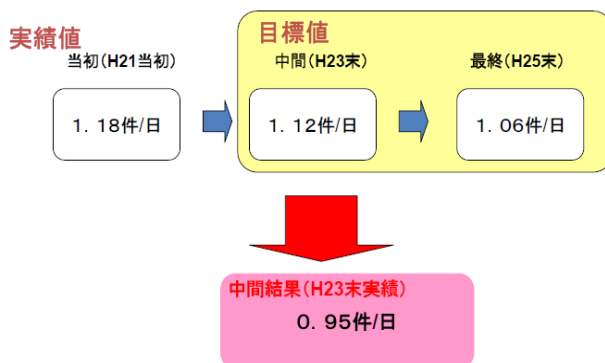


図-3 降雪日当たりの冬期路面事故件数中間評価達成状況

(3) 自動車交通の危険にさらされる歩行者

次に、2つ目のアウトカム目標として、下記の指標を設定している。

対象地域内の歩道未整備区間を通行する歩行者の割合を示した指標

$$\text{ひやり歩行者率} = A/B \text{ (\%)}$$

A:歩道未整備区間の歩行者量と、区間延長を掛けて「ひやり歩行者数」を計算 (人・km)

B:対象地域内の全区間において歩行者量と区間延長をかけて「全歩行者量」を計算 (人・km)

このアウトカム指標は平成17年度センサスから北部地域の歩道の未整備区間延長に歩行者数を掛けてひやり歩行者数を算出し、歩行部地域内の全区間において歩行者量と区間延長をかけて全歩行者率を算出し、ひやり歩行者数を全歩行者率を除し、ひやり歩行者率を算出している。

削減率は、歩道整備に関する改築系、交安系事業の対象路線54路線で事業費と事業延長で案分して、歩道未整備区間がどれだけ少なくなったかを算出している。

(3) 自動車交通の危険にさらされる歩行者の中間評価結果

国道365号郡上工区や安曇川今津線今津工区の供用開始等により安全な走行空間の確保が発現でき、中間目標値46.2%に対して中間結果が46.1%となり目標を達成できた。

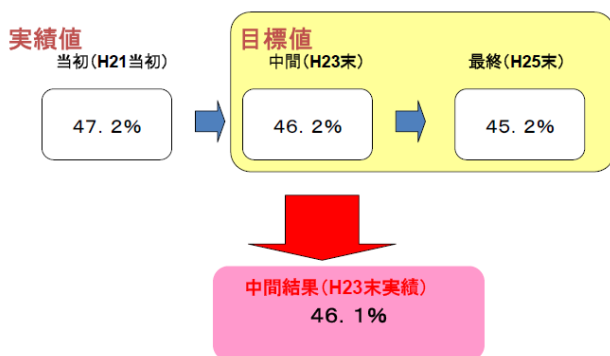


図4 降雪日当たりの冬期路面事故件数中間評価達成状況

6. 定性的な効果発現状況

定性的な効果発現状況として、国道303号平成23年8月23日に雨量規制基準の解除を行った。これは、平成8年度に行った道路防災総点検の要対策箇所を全て対策完了させ、変更しようとする道路通行規制基準（連続雨量100mm）以上の雨量を経験し、無災害であった事により雨量規制の解除を行ったものである。これにより、昭和62年から平成23年まで全面通行規制を延べ15回（118時間）行ってきた箇所でも、豪雨時でも通行できるようになった。

7. 主要な事業の選定について

主要な事業の選定要件については、平成23年度に評価監視委員会です承された内容であり、事業採択後5年以上を経過した時点で未着工の事業、もしくは、事業採択後10年以上経過し継続中の事業に該当する事業が該当する。

「事業採択」とは国庫補助事業については「国の事業採択通知を受け事業費が予算化された時点」、単独事業については、「詳細設計に着手した時点」になる。

「未着工の事業」とは「用地買収手続きと工事のいずれにも着手していない事業」となる。今回のパッケージ1「雪国の快適な暮らしを支えるまちづくり」では国道365号椿坂道路が選定された。

8. 委員からの意見等

今回、新しい評価制度での初めての委員会もあり、全体的に厳しい意見をもらった。例をあげると、「社会資本整備総合交付金の計画を立てて交付金をもらっているとしても、目標達成の指標を立てているなら、効果が認められるものについては単独費等についても目標を達成するためにかかる費用はすべて含めて整理する必要がある。」「ヒヤリ歩行者を減らすために交付金対象のフルスペックの歩道整備ではないが、ソフト対策や簡易対策

があればそれも含めて資料を整理する必要がある。」
「安全に歩行できるようになるには、道路政策だけでなく、警察や市民一般の心がけであるとか色々な政策がある。その中で社会資本整備計画では何%担っている。その計画づくり、司令塔が必要。」「目的は国から交付金をもらうことではなくて、県民の安全を確保することならば、計画書の書き方がかわる。」等の意見をもらった。

9. 中間評価に対する意見

前述で述べたとおり、中間評価は①事業の進捗状況②事業効果の発現状況③評価の指標の目標値の実現状況の3点について意見を頂いた。

① 「社会資本整備総合交付金分の進捗率は25%、地域自主戦略交付金分の進捗率は26%であり、この計画全体では25%にとどまっているが、国道367号途中谷バイパス整備の完了や一般県道葛籠尾崎大浦線の暫定供用が開始されている。」

② 「アウトカム指標の中間目標値は達成しており、今後についてはさらに計画を推進していく必要がある。国道303号杉山の雨量規制区間を解除することができた事は定性的な効果発現として認められる。」

③ 「冬期路面事故件数については中間目標値1.12件/日に対して、評価値0.95件/日、ひやり歩行者率については、中間目標値46.2%に対して評価値46.1%といずれの指標においても目標値を達成している。」

また、評価制度についての意見を付け加えたいとの委員意見があったので、その他の意見を追加した。

その他「今後は、県下における、社会資本の総合的な整備のあり方や、社会資本総合整備計画の評価指標と個別事業の関係に留意した評価方法については、検討の余地がある。」

10. 今後について

委員からの意見にあるように、県全体の目標やあるべき姿と、社会資本総合整備計画の目標が整合するようになる必要がある。県の直面している課題や目標から社会資本総合整備計画が説明でき、さらには個別事業についても説明できなければ、県がイニシアティブを取って公共事業を行っているとは言えない。

しかし、毎年、国の補助予算が減る中で、他府県との予算獲得競争が高まり、国は重点化項目に合う整備計画に対して配分率を高くするとの方針を示している。

今後については、県の中長期計画との整合をはかりつつ国の方針をすばやく察知し、いかに滋賀県らしい整備計画と目標を立てられるかが課題となる。

＜本文を作成にあたり監理課藤田参事よりアドバイスを頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。＞